

2018年3月14日

日本ユニシス、三谷産業 三重銀行が意思決定の迅速化とペーパーレス化促進の基盤として 「POWER EGG®」を利用開始

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）と三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長 三谷 忠照、以下 三谷産業）および子会社であるディサークル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長、西岡 毅、以下 ディサークル）は、株式会社三重銀行（本店：三重県四日市市、代表取締役頭取：渡辺 三憲、以下 三重銀行）へポータル型グループウェア、ワークフローシステム「POWER EGG（パワーエッグ）」を導入し、利用が開始されました。

「POWER EGG」は、2018年2月末時点で、国内1,265社（自治体：78団体 金融機関26社を含む）約386,100ライセンスの販売実績を有しています。日本ユニシス、三谷産業では、今回の三重銀行での実績をもとに、「POWER EGG」の金融機関への展開をさらに加速していきます。

尚、今回、「POWER EGG」をBCP対策が施された仮想基盤上に構築したことにより、既存リソースの有効活用と低コストでのBCP対策を実現しています。

【「POWER EGG」導入の目的と期待される効果】

三重銀行は、既存業務でのペーパーレス化および業務手順見直しを行い、「働き方」を変えることで、生産性向上を進め、経費削減および業務時間短縮を推進することを目的に、「POWER EGG」の採用を決定し、2017年10月から営業店・本店での本番利用を開始しています。

三重銀行が「POWER EGG」導入により目指す効果は以下のとおりです。

1. ペーパーレス化

各種書類（各種稟議／報告書／リーガルチェック等）の回覧や決裁の電子化による行内業務円滑化とペーパーレス化

2. 業務の見える化

必要な情報のみを伝達するポータルによる行内業務・情報の見える化

3. システムの効率化

Webデータベースの活用による新たなシステム投資の抑制

【今後の展開】

日本ユニシス、三谷産業は、今回の三重銀行での実績をもとに、POWER EGGの金融機関への展開をさらに加速していきます。

以上



三重銀行は、三重県四日市市に本店を置く地方銀行です。経営理念として「地域とともに発展する銀行」「お客さまとともに栄える銀行」「株主・従業員とともに歩む銀行」を掲げ、地元企業・地域経済の成長に貢献し、成長し続ける銀行を目指しています。

■ 「POWER EGG」(パワーエッグ) について

POWER EGG は、統制強化と業務生産性の両立を図る上場企業や中堅企業を中心に、「気づき」を促す PUSH 型ポータル機能やワークフロー機能などを提供しています。最近では、地域金融機関における導入実績も堅調に増加し、また、証券会社での実績も加わり、2018 年 2 月末時点で、1,265 社（自治体：78 団体 金融機関 26 社を含む）約 386,100 ライセンスの販売実績となり、国産ポータル型グループウェア、ワークフローシステムとして高い評価を受けています。

※POWER EGG は、三谷産業株式会社のグループ企業であるディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 関連 URL

銀行・信用金庫向け業務改革支援ソリューション「POWER EGG」

<https://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/poweregg/index.html>

株式会社三重銀行

<http://www.miebank.co.jp/>

三谷産業株式会社

<http://www.mitani.co.jp/JP/index.html>

ディサークル株式会社

<http://www.d-circle.com/>

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。